

議会だより

ついに実現 3歳未満児も無償化で保育料ゼロへ

町内3小学校・子ども議会開催



堂々
発言

あさひ未来学園の進捗は

今年度は用地造成、建築の基本設計・実施設計が本格化

大型事業が町財政に与える影響は

令和8年度予算編成について

シリーズ議員の思い。一般質問
細谷秀明議員・鈴木義昭議員

高齢者福祉施設の推進を

家族介護者への支援拡充を

特集

議員発議

議員定数10人へ

議員はどう考えたか

令和8年度

予算審査特別委員会

町政史上初めて一般会計95億円超え

12人から10人へ

全会一致で可決!!

3月定例会において、議員発議により、全会一致で議員定数を12人から10人へ削減することが決定し、次回選挙より施行される運びとなりました。議会活性化特別委員会では、この重要なテーマに対し、幾度となく議論を重ね、議会の在り方や将来像について真摯に向き合ってきました。本特集では、これまでの議論の経過を振り返るとともに、各議員の考えや決断の背景、そして定数削減後の新たな議会運営の姿について、多角的に考察していきます。

これまでの議会活性化特別委員会の流れ

令和5年	9月7日 (第2回)	議員のなり手不足を主題に現状認識を共有。無投票増加、平均年齢の高さ、女性議員の少なさ、報酬水準の低さなどを確認。要因は人口減少だけでなく、議会の見えにくさや参加のハードルなど複合的であり、広報の強化や対話機会の創出が必要と整理。
令和6年	3月6日 (第3回)	区長へのアンケートを踏まえ、なり手不足・定数・報酬などの主要課題を再整理。町民との意見交換会は方法を見直して実施する方針とし、模擬議会は当面見送りとした。
	4月9日 (第4回)	意見交換会の具体的な運営(班編成・進行方法)を決定。共通テーマを「議会議員に望むこと」とし、要望の聴取ではなく、議会への意見や評価の把握を目的とすることを確認。
	6月11日 (第5回)	5年ぶりに実施した意見交換会(北部・中部・西部)各地区の結果を共有。なり手不足や無投票、情報発信不足への不満に加え、「結果が見えない」「議員が普段から声を聞いていない」との指摘があった。多様な地域課題も提示され、意見交換会は有意義として、継続実施と運営改善の必要性を確認。
	9月6日 (第6回)	意見交換会での質問に対する町の回答を報告(スマホ支援、観光、空き家、高齢者、交通、防災など)。内容を議会だよりで町民へ周知する方針を決定。あわせて議員定数について、現状維持・削減・増加の選択肢による全議員アンケートを実施。
	12月19日 (第7回)	定数アンケートの結果は「削減」が多数(特に2人減)。委員会として削減方針を確認し、具体数は今後検討。手続きは段階的に進めることとし、内容は議会だよりで周知。報酬についても見直しが必要であるとし、報酬審議会の開催を町長へ要請する方向で一致。
令和7年	2月19日 (第8回)	議員定数を次回選挙から「12人→10人」に削減することを全会一致で決定。6月定例会での議員発議を目指す方針を確認。報酬についても引き上げの必要性で概ね一致し、具体案の検討へ。
	3月6日 (第9回)	議員報酬の具体額を協議し、「議員26万5,000円(副議長28万円、議長34万円)」案を要望することで決定。なり手不足の要因として報酬の低さや負担増を再確認。政務活動費は報酬と切り離し、継続検討。中間報告および要望書提出。
	5月8日 (第10回)	正副委員長に辞職に伴い互選を実施。委員長に細谷秀明氏、副委員長に阿部正明氏を全会一致で選任。
	12月8日 (第12回)	町民議会での意見整理、議員報酬増額要望、定数削減条例の提出時期などについて協議。
令和8年	1月15日 (第13回)	これまでの議論を総括し、議員定数「12→10人」で正式合意。なり手不足の背景として、報酬が平成8年以降ほぼ据え置きで、生計維持が困難との認識を共有。議会機能強化と人材確保のため、報酬見直しを重要課題として整理。
	2月24日 (第14回)	なり手不足、物価上昇、職務負担増を踏まえ、議員報酬を「23万5,000円→29万5,000円」へ引き上げるよう町長へ強く要望する方針を決定。あわせて議長・副議長および特別職の報酬見直しも求め、3月定例会で要望書を提出することとした。(関連記事23ページ)

特集 議員発議 定数



議員定数を私はこう考える



青木裕子 議員

無投票選挙により議員の資質低下のおそれや、日頃の活動への評価がはかれない状況を鑑みますと、定数の削減が妥当と考えました。一方で、町民の皆様からは人口減少に伴う議員の定数削減の声を頂戴しますが、少子高齢化に起因する諸問題の多発・複雑化に対して議員が対応しきれなくなることが懸念されます。単純な人口比率や漠然とした肌感覚ではなく、各議員の活動実情を把握の上、ご理解いただけますと幸いです。こちら、さらなる情報発信に努めてまいります。

前回選挙が無投票となったことから、定数の在り方が問われました。個人的には、議員定数削減は民意を反映したものと考えています。

今後は、委員会の構成や議会運営などを効率的に進めていくこととなりますが、基本的には2人減を10人の議員で補っていくこととなります。

定数減により、議会の意義や機能を損なうことなく、町民の皆様により寄り添い、町民の意見などを町政に反映させるために努めてまいります。



和田一則 議員



柴田喜久雄 議員

次回の選挙から定数が2人削減され10人となりますが、町の面積や地域数は変わらず、55集落のままです。人口だけが極端に減少していく中で、議員一人ひとりの労力や責任の重さは計り知れないものとなってきます。

早晩5千人を切り4千人台となる中で、大規模な社会資本投資を踏まえた財政状況を考えますと、議員のみならず職員一人ひとりに課せられる責任は重大な局面を迎えます。

議員報酬の大幅引き上げを要望していますが、歳費削減とならないよう、議員として一層の覚悟を持って職責を全うしてまいります。

議員定数の削減は、時代の変化を踏まえ、議会自らがその役割と責任を見つめ直すための決断と考え、賛成いたしました。定数減に伴い、一人ひとりの責任はこれまで以上に重くなり、議会の真価が問われることとなります。その重みを真摯に受け止め、丁寧かつ実効性のある議論を積み重ねることで、町民の信頼に応える議会を築いてまいります。退路を断つ覚悟で職責を果たしてまいります。



長岡裕二 議員

← 次のページへ続く

議員定数を私はこう考える



阿部正明 議員

当時の議会活性化特別委員会委員長として、議員定数削減に賛同いただいた議員の皆様へ、英断に心から敬意を表します。当町も県内2番目に高い高齢化率が示すとおり高齢化が進み、人口5千人台の町へと変貌しました。この状況下において、定数削減は避けられない問題と考えました。2人削減となりますが、次期選出される10人の議員には、町内全域の住民の生の声を伺い、町政に反映させる「この行動ができないなら職を辞す」この覚悟を持って立候補していただきたいです。

近隣市町村と比べても、人口の割に議員の人数が多いのが一番の要因です。これからの議員の方には、人口の多い地域だけの意見に固執することなく、人口減少により集落の維持が困難な地域の意見にも耳を傾け、自分事として考えられる議員になってもらいたいです。町民の一人ひとりが何事にもチャレンジし、町の元気と活性化に取り組んでほしいと思います。



鈴木義昭 議員



白田忠一 議員

これまで4回立候補しましたが、2回は無投票でありました。無投票の背景にある主要因としては、人口減少による人材不足に加え、議員報酬の低さから若い世代が専業で活動することが難しい現状があります。また、政治離れや関心の低さで、若い世代で議員活動へのハードルが高いと感じ、立候補を避ける傾向があります。有権者が投票を通じて審判を下す機会が失われ、真の信任が得られないことで競争がなくなり、政策論争が深まらず閉鎖的になりやすいため、削減に賛成しました。

議員定数削減については、町民の意思として削減を求める声が年々多くなってきていることや、人口減少などの状況を鑑み、定数削減は時代の流れと考え、賛成しました。



石井喜久男 議員



鈴木光一 議員

人口減少や少子高齢化に伴う地域コミュニティの維持など、課題は山積しています。議員定数削減により財政負担の軽減につながる一方、住民の付託を受けている議員ですので、これまで以上に誠実に職責を果たす必要があります。一方で、定数減により多様な意見が反映されにくくなることや、少数意見が封じ込められるリスクも懸念されます。町民の「しあわせ」を実現するため、行動していきます。

私は現在3期目ですが、過去2回の改選はいずれも無投票という結果でした。こうした状態が続けば、議員の考え方が固定化し、さまざまな議論ができず、町の活性化にはつながらない懸念があります。したがって、今後は定数を削減し、現役世代の政治参画を促すため、次期改選に向けて「報酬の在り方」や「出馬しやすい環境づくり」について、町民との対話を積極的に推進するなど、議員自ら行動すべきと考えます。



細谷秀明 副議長



佐竹祐樹 議員

議員定数削減については、多くの自治体でなり手不足や定員割れが発生しており、大きな問題であることから、その解消策と考えました。今後の課題は、一人の議員への負荷が大きくなることです。議会で取り上げる目や耳の数が減る分、町民の声をより重く受け止めなければならないと思います。この朝日町が、老若男女問わずキラリと光るまちづくりを実現できるよう、今後も考え、町民の皆さんと共に歩いていきたいです。

本来、議員定数は減らすべきでないと思いますが、人口減少が進む中ではやむを得ないと考えます。その分、議員各位が地域の実情をしっかりと把握し、町民の声を大切に活動していかなければなりません。定数減により業務量は増えますが、議員一丸となって取り組んでまいります。



阿部為吉 議長

Q1 なぜ議員を減らすのですか？

A 人口減少や厳しい財政状況を踏まえ、議会の規模を適正化するためです。
また、議員の役割や活動の質を高める観点から、「少数精鋭の議会」への転換を図ります。

Q3 議員一人の負担は増えるのでは？

A 確実に増えます。担当分野の拡大や委員会の兼務、調査・政策立案の負担増が見込まれ、今後はより専門性と責任が求められます。

Q5 議会運営に影響はありますか？

A あります。主に以下の点です。①常任委員会の構成見直し ②1人当たりの役割増加 ③委員会審査の負担増。議会活性化特別委員会では現在、委員会や運営方式の見直しも行っています。

Q7 なり手不足の解消につながりますか？

A 一概には言えません。定数減により競争はやや高まる可能性がある一方、負担増によって敬遠される可能性もあります。そのため、報酬・環境・やりがいの見直しとあわせて考える必要があります。

Q8 今後の議会に求められる姿は？

A 次の3点に集約されます。
①少数でも政策提案ができる議会
②住民と直接つながる開かれた議会
③行政を的確に監視できる専門性の高い議会

Q2 議員が減ると、住民の声が届きにくくなりませんか？

A その懸念はあります。そのため、議会としては以下の強化が不可欠です。①意見交換会の充実 ②SNSやデジタルの活用 ③議員1人当たりの情報収集力の向上 ④「人数の減少＝機能低下」にならない仕組みづくりが前提となります。

Q4 チェック機能（監視機能）は弱くなりませんか？

A 何もしなければ弱くなります。そのため、質問力の向上やデータに基づく監視、少数でも深く追究する姿勢が必要です。「人数」から「質」へ転換できるかが最大のポイントです。

Q6 経費削減の効果はどの程度ですか？

A 議員2人分の報酬・手当などが削減されます。ただし、議会全体の予算に占める割合は大きくないため、「財政効果」よりも「議会の在り方改革」の意味合いが強い決定です。

Q9 住民にとってのメリット・デメリットは？

A **メリット**
・意思決定の迅速化
・議員の責任の明確化
デメリット
・地域代表性の低下
・声の拾い漏れの可能性

議員定数が12人から10人へ
よくある質問にお答えします

議員定数
12人→10人
想定Q&A

これをどのように補っていくかが今後の最大の課題です。
これからの議会の取り組みに、ぜひご注目ください。

一般会計予算 可決しました

前年度比(42.5%増)

28億4,000万円の増

予算審査特別委員会

朝日町一般会計、3特別会計（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）および3企業会計（病院事業・水道事業・集落排水事業）以上7会計の令和8年度予算案を予算審査特別委員会で審査し、全議案を原案どおり可決すべきものと決しました。

その後、本会議で委員長報告がなされ、全議案を原案どおり可決しました。



予算審査特別委員会 阿部正明 委員長

委員長挨拶

委員長就任にあたりご挨拶申し上げます。一般会計当初予算は、過去最高の95億2,400万円です。令和11年開校予定の「あさひ未来学園」やAsahi自然観コテージ村整備事業といった大型建設事業とともに、町民生活に密接に関係する事業予算が多数含まれています。皆様には、町民の代表として厳しく審査に努められますようお願いいたします。

ワンポイント予算用語解説

- 町 税**…………… 町民税や固定資産税、軽自動車税など、町に入る税金です。
- 地方交付税**…………… 県や市町村間の収入の格差をなくすために、国から交付されるお金。町の歳入の3分の1近くがこのお金です。
- 町 債**…………… 建物や道路の新設・整備など多額の資金が必要となる事業の財源とするため、国や銀行などから借りる資金のことです。
- 繰入金**…………… 町の貯金（基金）の取りくずし金です。
- 公債費**…………… 町の借金（町債）の返済費用です。
- 扶助費**…………… 主に生活に困っている人や子育て世帯、障がい者などへの給付金です。
- 投資的経費**…………… 道路、橋りょう、公園、学校など、社会資本の整備に要する経費です。
- 物件費**…………… 人件費、維持補修費、扶助費、補助費など以外の町が支出するお金。具体的には、職員旅費や備品購入費、委託料などが含まれます。
- 補助費等**…………… 町から事務組合や民間、個人などに対して交付される経費です。負担金・補助金および交付金（一般的な補助金）などが該当します。
- 繰出金**…………… 町の特別会計（3会計）へ支出される経費など。

過去最大の
大型予算

令和8年度

95億2,400万円

目玉事業はこれだ！

義務教育学校の整備事業
30億3,220万円

Asahi自然観コテージ村の
整備事業
3億3,400万円

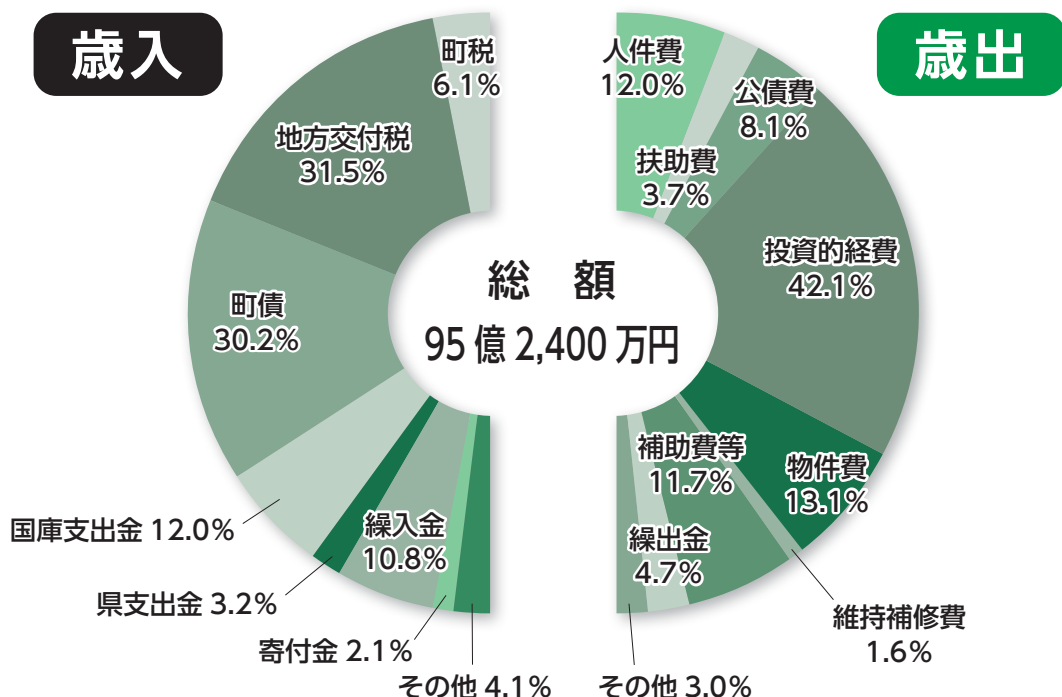
町道立木ブナ峠線
災害復旧工事
2億2,200万円

物価高とう対応・水道利用料
減免事業
3,275万円

有害鳥獣融解施設整備に対する
町鳥獣被害対策実施隊への補助事業
165万円

朝日町JR左沢駅間直行バスの
実証運行事業
112万円

一般会計予算の構成



予算審査特別委員会 質疑

令和8年度

一般会計

総務文教分野

所管

- 総務課
- 危機管理対策室
- 税務町民課
- 政策推進課
- 教育文化課

防災訓練

細谷委員 防災訓練の予算額が昨年対比で大幅に増額計上されているが、具体的内容は。

危機管理対策室長

今年度は、大規模災害の発生を想定し、職員全員による避難所設置訓練および災害対策本部設置訓練を予定して

います。講師を3名程度お願しいし実施するものです。

ふるさと納税ランキング34位

長岡委員 県内同規模町村は高水準を維持する一方、

当町は寄付額が伸び悩んでいる。制度活用に加え、町民への理解促進や機運醸成を含め、取り組み強化が必要ではないか。

町長 大切な自己財源の1つです。庁内はもとより、

機会があれば町民にアピールしていきます。



ふるさと納税返礼品の一例

スクールソーシャルワーカー派遣へ

青木委員 いじめや不登校が本人を取り巻く環境に

起因するケースを想定しての新規派遣と理解しているが、人選は固定なのか。

教育文化課長 今回は保

育園児から対応できるキンドラーソーシャルワーカーの資格保有者に依頼するため、人選は固定です。経験豊富な方であり、安心して任せたいと考えています。

中学生海外派遣事業の意義は

長岡委員 参加機会の公平性確保と、研修成果の地域

全体への還元はどう図るか？

教育文化課長 英語に触

れる修学旅行は、全員対象で町が費用負担し平等性を確保しています。一方、海外派遣は希望者対象の発展との位置付けで、参加者は報告会で成果を町民へ共有しています。今後は全員参加型の在り方も検討します。

中学生海外派遣事業の研修先

白田委員 今回の予定地は台湾の台北を予定してい

る。米国は治安的には心配だが、台湾を選んだ理由は。

教育文化課長 国際情勢

が厳しい中で米国への派遣は難しく、りんごの輸出などで町との関係が深い台湾への派遣を決めました。事前に職員2名を現地に派遣し、安全性を確認した上で判断しています。

衛星通信システム

和田委員 衛星通信シス

テム負担金の繰り越し理由と、システム内容は。

危機管理対策室長 衛星

通信システムの改修は2年計画となっており、来年度も引き続き実施します。内容は、災害時に県や関係機関と情報の共有を図るものです。

※子どもと家庭を支える福祉の専門職。

広域消防負担金

鈴木義昭委員 西村山広

域消防で、消防本部庁舎の新築に続き、はしご車導入の計画もあるというが、本当に必要なのか。

町長 一つの町だけで決めるわけにはいきません。

1市4町で必要性や財政負担について、部会を設けて精査し、検討してまいります。

印刷費の高騰理由

和田委員 印刷等実費徴

収金だが、昨年から大幅に増額となった。理由と今後の予定は。

総務課長 輪転機を廃止

し、コピーのみとなったため印刷費が増額になりました。西部公民館、北部公民館には輪転機がありますので、安価に利用できます。今後の印刷費に関しては検討します。

免許証自主返納者に新たな支援を

佐竹委員 運転免許自主

返納者に対し2万円分の県タクシードラマンドタクシードラマンド回数券、デマンドタクシードラマンド券を1回支援する事業だが、現在75歳以上の高齢者で申請している方はデマンドタクシードラマンドや山交バスに割引がある。75歳未満で自主返納した人にもデマンドタクシードラマンド割引を適用できないか。

政策推進課長 現時点で

は考えておりません。

産業厚生分野

所管

- 農林振興課
- 総合産業課
- 健康福祉課
- 町立病院

町民の声



鈴木裕樹さん (元町)

3歳未満児の保育料の無償化は、多くの方が望んでいたことだと思います。私としては、もう少し早く行ってもらえたらと思っています。

道の駅冷蔵庫増設

長岡委員 バックヤード

や加工場などの施設が手狭になってきている。以前、社員休憩所の件も議論されたが、その後の展開は。

総合産業課長 運営協議

会からの要望を受け、令和8年度に農産物用冷蔵庫を導入します。この他の展開も、施設の構造上難しい面はありますが、関係者と協議の上検討してまいります。

地域密着型施設整備交付金

鈴木義昭委員 地域密着

型施設整備交付金が県から4300万円あるが、町からの支援は。

町長 町からは創業支援

の200万円のみです。産業立地促進の補助金もありますが、これまでは工業を対象としてきました。今後は福祉施設にも活用できるか精査し、前向きに検討します。

緊急統狼対応危険度に見合うか

青木委員 出勤時の日当を

1万円で計上とのこと。拘束時間や危険度、高度な技術に見合っているのか。他県では最低額から最高額まで10倍以上の差があるが。

農林振興課長 状況にも

よりますが、活動時間は半日を想定しています。運用の中で状況を見ながら、変更も視野に入れて検討していきます。

高齢者の居場所づくり(すぽっと)

鈴木光一委員 一部の高

齢者の利用に偏っていないか。多くの町民への周知を図るべきではないか。

健康福祉課長 移動手段

が課題となり、町中心部の方の利用が多い状況です。より多くの方に利用していただけるよう、デマンドタクシードラマンドの利用も含め「すぽっと」の周知を図ってまいります。

病院事業費の繰り出し基準

細谷委員 今年度、病

院事業会計補助金として3億5千万円を一般会計から繰り出しているが、上限の規定はあるのか。

総務課長 総務省の繰り

出し基準に基づき、不採算病院として認められており、上限の明確な規定はありませんが、病院会計の収支状況を勘案しながら、町と病院で協議しています。

林業総務費委託料

柴田委員 意向調査業務の詳細は。

農林振興課長 3年間で

西、中、北部地区の5、6カ所程度で、どのぐらいの木材が産出できるのかやコストがかかるかなどを把握するため現地調査を実施します。今年度は白倉地区において搬出ルートやコストの調査を行いました。

空気神社に安全な参道を

石井委員 高齢者でも誰でも空気神社に参拝できるように、手すりの設置や車で行けるようにする考えはないか。

総合産業課長 コテージ

村大規模改修事業を行っており、現在、車道整備の計画はありません。手すりについては、安全確保の観点から危険箇所への設置を検討します。

農作業事故への対応

白田委員 全国的に農作業事故が多発している。当町でも農作業事故防止のための講習会などを実施する考えはないのか。

農林振興課長 チラシや

朝の防災無線などで注意喚起をしています。今後は農業機械士の方にもお願いし、講習会なども検討しながら事故防止の啓発を図ってまいります。

私もひとこと



じゅんいち 佐藤純一さん (小原)

「認定農業者農機具支援事業の増額について」

農業経営には機械化が不可欠です。高額な上に更新が厳しくなる中、この支援事業は大変ありがたいです。少しでも増額を望みます。

ファミサポ増額、研修、参加支援へ

青木委員 サポート体制充実に向けた活動助成は。提供会員へ町から500円加算されている。金額の算出根拠と周知方法は。

健康福祉課長 近隣市町

村の状況や最低賃金の高騰を考慮し、まずはこの金額としました。依頼者には各種子育て支援事業の相談時に、提供会員にはお知らせ板などで周知します。

空気神社ライトアップ事業

細谷委員 空気神社ライトアップ事業は大変好評であるが、今年度の具体的な計画は。

総合産業課長 週末の夜

の出店や、キッチンカーの導入による経済効果を図るとともに、安全対策としてイルミネーションの増設やトイレの改修を予定しています。

関係人口拡大イベント

白田委員 朝日町総合産業開発は2月21日に東京で、関係人口拡大を目的とした「朝日町とつながる夜 in TOKYO」を開催し、町の魅力をPRした。今後継続する考えはあるのか。

総合産業課長 関係人口

の創出・拡大に有効な手段であり、継続開催に向けて環境を整えてまいります。

デマンドタクシー運行見直し

鈴木義昭委員 町内のタクシー事業者が3月で廃業する。町民の足としてデマンドタクシーの土曜運行の考えは。

町長 平成26年に土曜運

行を試行しましたが、実績が得られませんでした。地域公共交通会議でも話は出ませんでした。以前とは状況も変わってきているので検討してまいります。

コテージ村再整備

和田委員 現在もコテージの建設が行われている。冬期間の工事となったが、来年度の改修、建設の工程は。

総合産業課長 4月から

準備を進め、9月の完成を予定しています。



日本一のコテージ村整備事業

インバウンドの現状は

鈴木光一委員 インバウンドの現状と今後の町への経済効果について伺う。

総合産業課長 令和7年は約1000名の方が町を訪れました。経済効果については、コテージが完成すれば多く見込めるようになると考えます。

各種検診受診率向上に向けて

柴田委員 各保健組合が実施している受診率向上対策として、保険会社の社員によるマイリンクコーディネーターの導入の考えはなにか。

健康福祉課長 導入している自治体や検討中の自治体があることは承知していますが、当町では可能性を精査してまいります。

※地域課題を人と人のつながりで解決する調整役

国民健康保険特別会計

和田委員 国民健康保険

の国・県助成金減額分が昨年度より約30万円増加しているが、理由は。

国・県助成の減額

健康福祉課長 重度心身障がい者医療対象者や医療費増加により、減額分が増えたものと考えています。

疾病予防委託料について

柴田委員 健康づくり支援業務の委託先と内容は。

健康福祉課長 保健事業については、医療費の分析や受診勧奨、重症化予防、医薬品の適正使用などを行うもので、県内自治体が委託している事業所を想定しています。また、健康づくりについては企業との連携を想定しています。

病院事業会計

整形外科の常勤医師確保

細谷委員 整形外科の診察日は患者が多く、安定した病院経営には常勤医師の確保が必須であると思うが。

町長 山大医学部に年2回訪問し要請を続けており、対象者に心当たりがない訳ではないですが、教授からはもう少し時間をいただきたいとの返答です。今後も粘り強く交渉してまいります。



町民の健康と命を守る町立病院

病院事業の展望

鈴木義昭委員 今後10年を見据えた場合、町立病院の機能や病床規模をどのように維持していくのか。

病院事務長 西村山全体でも、人口は減っていきませんが、2040年までは後期高齢者の人口は大きく減少しないと推計されていますので、現時点では病院機能は現状を維持していく考えです。

集落排水事業会計

長寿命化の取り組み

白田委員 昭和56年に大谷集落排水が供用開始してから45年が経過しているが、長寿命化の取り組みは。

建設水道課長 平成30年度に汚泥脱水機、令和元年度に分電盤などを修繕し、施設の大規模な修繕は完了しています。また、機械器具につきましても省力化、

省電力化を進めています。

水道事業会計

水道事業の展望

鈴木義昭委員 今後、人口減少が進む中で、水道料金収入は減少し、現在の規模や管路延長は維持できるのか。

建設水道課長 人口は徐々に減少していますが、収入は過去5年間を見ても安定しています。料金は令和10年に村山広域水道で改訂予定ですので、その際に検討します。管路は延長が長いので、漏水箇所から順次更新していきます。

過装置整備

細谷委員 実施設計業務委託費4400万円の概要は。

建設水道課長 一ツ沢地内の浄水施設に、保健所からの指導によりクリプト対策としてろ過装置を整備する計画であり、その設計費用を計上するものです。

令和8年
3月定例会

補正予算の主な内容

令和7年度一般会計補正予算（第9号） **可決**

歳入歳出それぞれ3,430万円を減額し、総額を71億9,940万円とするもの。減額となった主な要因としては、事業費の精査・確定によるものです。

○補正の主な内容

- ①地域活躍応援事業(除雪関連補助) 420万円
…除雪関連の補助金交付決定額に合わせて増額するもの。
- ②防災衛星通信システムの更新負担金 340万円
…衛星通信システムを第3世代に更新するための負担金を増額するもの。
- ③ワクチン関連の国庫補助金等の返還 412万円
…主に令和5～6年度のコロナワクチン接種などに関する国庫補助金・負担金を実績確定により返還するもの。
- ④病院事業会計への補助 219万円
…人件費などの増加に伴い補助金額を増額するもの。
- ⑤農業水路等長寿命化・防災減災事業 112万円
…弥八台ため池廃止に伴う設計に係る測量延長を延伸するため、増額するもの。
- ⑥鳥獣被害対策実施隊への活動報酬 380万円
…今年度の見回りや、わな設置などの活動実績に応じて交付額を増額するもの。
- ⑦町産材の加工 400万円
…Asahi 自然観コテージ整備に使用する木材の加工について、プレカット以外の経費のかかり増し分を増額するもの。
- ⑧ Asahi 自然観コテージ整備のための除雪費等 2,500万円
…コテージ新設・改修工事を円滑に進めるため、建設現場周辺の除雪とスキー場利用者の安全確保のため警備員を配置するもの。
- ⑨町道の道路舗装修繕 4,000万円
…令和7年度国補正予算（第1号）を受け、町道の道路舗装修繕工事を実施するもの。
- ⑩橋りょうの修繕 500万円
…橋りょう点検結果を受けて、用沢橋、芋沢橋の修繕工事を実施するため増額するもの。

おたからレポート

議会だよりNo.161の内容の一部に誤りがありました

令和8年1月30日に町内全戸配布となった前号（No.161）本紙10ページの「令和7年12月定例会議案採決一覧」において、右記のとおり誤りがありました。大変申し訳ありませんでした。お詫びして訂正いたします。

なお、ホームページに掲載の本紙データについては修正をしています。

誤った内容

番 号	青木	和田	柴田	長岡	阿部正明	鈴木義昭	白田	石井	鈴木光一	細谷	佐竹
議第69号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

正しい内容

番 号	青木	和田	柴田	長岡	阿部正明	鈴木義昭	白田	石井	鈴木光一	細谷	佐竹
議第69号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3月定例会 補正予算質疑

民間の新規看護 介護施設整備延期

青木議員 地域密着型看護小規模多機能型 居宅介護施設の整備費が減額。事業概要と延期理由、今後の予定は。

健康福祉課長

訪問看護、訪問介護、通所介護、短期入所の4つの機能を持たせた介護施設です。今年度は施設の整備が不可能だったため、令和8年度に工事し、令和9年4月以降に事業開始予定です。

コンビニ端末機による 公的証明書取得

阿部正明議員

コンビニ端末機利用開始以降の、住民票と印鑑証明書の各取得数は。また、3月という移動時期に、なぜ長期間利用停止となったのか。

税務町民課長

住民票が32件、印鑑証明書が24件です。総合行政システムの更新により、J-LISの証明書発行サーバーとの情報連携調整に2週間必要となるためです。

林業総務費委託料

柴田議員

意向調査業務委託費400万円の減額の理由は。

農林振興課長

下芦沢地区の現地調査を予定していましたが、木材の切り出しが非常に困難なため見送り、減額補正としたものです。

農業水路長寿命化

白田議員

大谷地区の弥八台ため池廃止工事の内容は。

農林振興課長

令和7年



弥八台ため池

度は測量設計、令和8年度は下流水路の改修工事、令和9年度はため池本体の廃止工事を行う予定です。

元氣クラブ活動支援

石井議員

地域の元氣クラブ・長寿クラブがなくなり、楽しみがなくなったと声が出ている。現在のクラブ数と加入状況、および活動拡大に向けた状況は。

健康福祉課長

元氣クラブ数は西部地区3、中部地区7、北部地区6です。また、活動の拡大については、社会福祉協議会と連携し推進していきます。

町道舗装修繕工事

細谷議員

町道の道路維持費は毎年5千万円ほど計上している。舗装修繕工事の優先順位は、どのように決めているのか。

建設水道課長

町道の舗装は昭和50年から60年にかけて整備しており、目視での判断で損傷の激しい箇所や、地域から要望のあった

箇所を優先的に工事しています。

道路新設改良費

柴田議員

県単独道路整備事業負担金450万円が減額補正となった理由は。

建設水道課長

当初500万円を計上しましたが、県の単独工事が少なかったため、残り50万円は県道宮宿浮島線の側溝整備への負担金です。

戸籍住民基本台帳

柴田議員

キャッシュレス決済のメリット、ならびに利用率はどれほどか。

税務町民課長

クレジットカード、電子マネー、二次コード決済に対応でき、便利との声が届いています。キャッシュレス決済の利用者は2月末現在で320件で、全体に占める利用率は9.3%です。

社会福祉費減額

鈴木義昭議員

民生費・社会福祉費総額が5800万

円減額になっているが、その理由は。また、町民サービスの低下はないのか。

健康福祉課長

主な減額理由は、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計への繰出金です。また、利用者増に伴う事業費は増額しているため、減額による町民サービスの低下はありません。

医療機関等 物価高騰対策補助金

細谷議員

2月に審議可決された「医療機関等物価高騰対策補助金」は、医業外収益のどの部分に計上されているか。

病院事務長

一般会計補助金として1800万円を見込み、計上しています。



朝日町立病院会計窓口

令和8年3月定例会議案採決一覧

番号	議案概要	結果	青木	和田	柴田	長岡	阿部 正明	鈴木 義昭	白田	石井	鈴木 光一	細谷	佐竹
人事案件													
議第5号	人権擁護委員の候補者の推薦 任期満了に伴い長岡輝美氏（常盤）を再任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第31号	副町長の選任 伊藤耕平氏（経済産業省から出向）を新任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度補正予算													
議第6号	朝日町一般会計補正予算（第9号） 3,430万円減額／総額71億9,940万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第7号	国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 665万円減額／総額9億1,000万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第8号	介護保険特別会計補正予算（第3号） 9,170万円減額／総額11億5,398万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第9号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 730万円増額／総額1億2,200万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第10号	病院事業会計補正予算（第2号） 収益的収支200万円減額／総額8億9,090万円 ほか	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正等													
議第11号	町民バス等の設置及び管理に関する条例の一部改正 朝日・山形線の経路変更、往復定期券の料金改正、朝日・左沢線の土曜実証運行	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第12号	朝日町税条例の一部改正 4月1日以降の督促手数料の廃止	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第13号	朝日町税外入金督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部改正 4月1日以降の税外収入金督促手数料の廃止	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第14号	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定 上位法の規定に基づき標記設備及び運営に関する基準について必要事項を定める	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第15号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 上位法の一部改正により本条例の基準の一部を改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第16号	放課後児童健全育成事業に関する基準を定める条例の一部を改正 上位法の一部改正により本条例の一部を改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第17号	朝日町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正 人事院勧告等による一般職等の職員の給与を改定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第18号	朝日町職員等の旅費に関する条例の一部改正 国家公務員等の旅費に関する法律の一部改正に伴い、そちらとの均衡を図るため本条例の一部を改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第32号	朝日町特別職に属する者の給与に関する条例の一部改正 特別職に属する者の給与（手当）の改定を行うため、本条例の一部を改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計画の策定・変更													
議第19号	過疎地域持続的発展計画の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第20号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更（太郎・石須部辺地）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第21号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定（上郷辺地）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第22号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定（送橋辺地）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第23号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定（立木・白倉辺地）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新年度（令和8年度）予算													
議第24号	朝日町一般会計予算 歳入歳出総額95億2,400万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第25号	朝日町国民健康保険特別会計予算 歳入歳出総額9億2,100万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第26号	朝日町介護保険特別会計予算 歳入歳出総額12億1,810万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第27号	朝日町後期高齢者医療特別会計予算 歳入歳出総額1億3,830万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第28号	朝日町病院事業会計予算 収益的収支総額9億2,000万円 資本的収入総額5,024万円 資本的支出総額9,980万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第29号	朝日町集落排水事業会計予算 収益的収支総額3,350万円 資本的収入総額740万円 資本的支出総額1,000万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第30号	朝日町水道事業会計予算 収益的収支総額1億5,070万円 資本的収入総額2,080万円 資本的支出総額2億2,930万円	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員発議													
発議1号	朝日町議会議員の定数条例の一部改正 議員定数12人から2人削減し、10人に改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議2号	朝日町議会委員会条例の一部改正 2常任委員会の委員定数を6人から5人に改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※賛成：○ 反対：×

※阿部為吉議員は議長のため採決には参加しません。※補正予算および決算の金額は万円以下切り捨てで表記しています。

予算審議

議案審議

採決一覧

人事案件・臨時会

子ども議会

一般質問

視察研修報告

議会の活動

人事案件

議第 31 号 副町長の選任について

朝日町副町長を選任することについて議会の同意を
求めるもの。起立採決の結果、全会一致で伊藤耕平氏(経
済産業省から出向)の選任に同意することに決定しま
した。



いとう こうへい
伊藤 耕平 氏(大町)

議題 5 号 人権擁護委員の候補者の推薦につき 意見を求めることについて

現人権擁護委員、長岡輝美氏は令和 8 年 6 月 30 日
をもって任期満了となるため、令和 11 年 6 月までの 3 年
間、再度推薦することに全会一致で同意しました。



ながおか てるみ
長岡 輝美 氏(常盤)

令和 8 年 第 1 回臨時会

令和 8 年 1 月 15 日

議第 1 号 令和 7 年度朝日町一般会計補正予算 (第 6 号) 可決

補正予算質疑

地域商品券について

柴田議員 全町民に 1 万 3,000 円の地域商品券を配付とのことだが、8,000 円・5,000 円の
内訳根拠は。また、お米券は配付するのか。

総合産業課長 町内事業所でのみ使える商品券が 8,000 円分、フランチャイズ*でも使える商品券を
5,000 円分としました。なお、お米券は縁故米が多数あり、今回は商品券にしました。

*町外にある本部のしくみで運営する店

令和 8 年 第 2 回臨時会

令和 8 年 2 月 12 日

議第 3 号 令和 7 年度朝日町一般会計補正予算 (第 8 号) 可決

補正予算質疑

高圧電力支援事業の実績は

長岡議員 物価高騰における町内事業所への電気料金支援事業所数と効果検証は。また、その事
業が事業所の下支えとなっているか。

総合産業課長 高圧契約している 20 事業所に補助予定です。これまで 2 回実施し、実績報告にて効
果を検証しており、非常にありがたかったとの声をいただいています。

西五百川 小学校

あさひ未来学園の水道水は

Q 校内アンケートでは、81%が学校の水道水はおいしくないという答えで、あさひ未来学園の水道水はどうなるのか。

質問者

阿部 美昊さん、長岡 希海さん、樋口 瑠月さん

提案

あさひ未来学園には、冷水器を設置し、いつでも冷たい水が飲めて、水筒にも詰められる安心・安全に過ごせる学校にしてほしい。

西部地区住民の買い物対策

Q 西部地区には、食料品や日用品などを買う店がない。暮らす人たちが買い物しやすくするための対策は。

質問者

羽柴 アイペリさん、海野 雫さん、佐竹 結芽さん

提案

買い物と空き家問題の両方を解決する方法として、企業と連携し空き家を活用したお店を開くこと。

感想

小川 竜輝さん

困っていた学校の水の味やお店のことについて、対策や現在の計画を知ることができた。これからも朝日町をよりよくするために考えていきたい。



「住んでみたい」と思える町とは

Q 朝日町に住んでみたいと思える町は、どのような町だとお考えか。

質問者

白田 隼理さん、鈴木 佐知さん、鈴木 直輝さん



阿部為吉 議長

令和8年2月18日(水)、朝日町役場庁舎3階の議場にて、「朝日町立小学校子ども議会」が開催されました。西五百川、大谷小学校5・6年生と宮宿小学校の6年生、合わせて46人が出席。各校から選ばれた代表児童は、総合的な学習の時間に学んだことを踏まえて、それぞれ特徴ある質問や提案を鈴木浩幸町長へ投げかけました。

当日は通常の町議会と同様に、阿部為吉議長が座長を務め、一般質問の形式で実施されました。

第5回 子ども議会開催



お持ちのスマートフォンやタブレットから上記の二次元バーコードを読み込むと、子ども議会の様子を動画でご視聴いただけます。

提案

1. 空き家を飲食店や民宿などにし、人が集まりにぎわう場にすること。
2. Asahi 自然観に、子どもたちがそりやスキーを楽しむスペースを作ること。

感想

鈴木 結心さん

空き家の多さにびっくりしました。空き家の再利用やお店を建設する大変さについても知ることができてよかったです。Asahi 自然観に遊べる場所作ってもらいたい。



地域のつながりづくりに向けた取り組み

Q 地域のつながりをつくるためにどのような取り組みを考えているのか。

質問者

白田 真悠さん、川村 芽希さん、佐藤 真生さん

感想

和南城 愛生さん

北部地区だけでなく、町でも地域の人たちのつながりをつくるために、さまざまなことをしていると感じました。これからも地域の人やお年寄りによさしいまちづくりを頑張ってください。



HOPE CREATORS
～おおやに広かれ! きずなの「わ」～

H	O
H ハッピー	O おおや
P	E
P パワー	E えがお



西五百川・宮宿・大谷

3校合同

朝日町立小学校

貴重な意見を受け、よりよいまちづくりにしていかなければならないと強く感じました。



細谷 秀明 副議長

町政に問う 一般質問

◆一般質問とは 議員による町民のための施策提言の場。その実現に向けた方策を、町長・執行部側と真剣に質疑・答弁を介して政策議論します。



お持ちのスマートフォンやタブレットから二次元バーコードを読み込むと、各議員の質問を動画でご視聴いただけます。

1	鈴木義昭	令和8年度予算編成方針について	P18
2	細谷秀明	高齢者福祉施策の推進を!!	P19
3	和田一則	国民健康保険税統一について	P19
4	青木裕子	美しい町並みを次世代へ残す取り組みについて	P20
5	鈴木光一	持続可能なりんご産業 高齢者の難聴支援について	P20
6	柴田喜久雄	食料、農業、農村基本計画について 朝日町における自立農業確立のために	P21
7	白田忠一	今後の持続可能な地域づくりについて	P21

令和8年度、今までにない大型予算だ

町長 町民の勇気と元気に つながる予算

財政運営について

【質問】 大型事業が町財政に与える影響は。

【町長】 自然観コテージ村整備事業に約3.5億円、あさひ未来学園建設に約30億円を計上しています。財源は、有利な過疎債や地債などです。経常収支比率は、令和6年度決算ベースで98.8%と県内でも高水準に位置しており、事務の効率化や無駄の削減を意識し、業務を遂行してまいります。

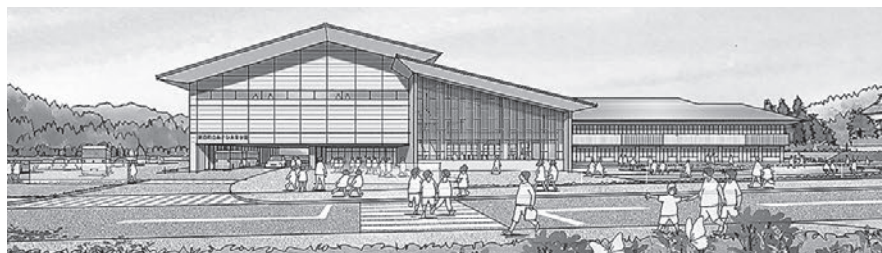
【質問】 将来負担比率はどの程度見込んでいますか。

【町長】 令和8年度から比率が発生し、最大で50%程度まで上昇すると見込んでいます。全職員に対し、緊張感をもって財政運営に努め、共通認識のもと業務を進めてまいります。

子育て支援

【質問】 新たな子育て支援策は。

【町長】 スクールソーシャルワーカー、いわゆる社会福祉士などを配置し、子どもたちを取り巻くさまざまな課題の解消に取り組むことで、深刻な状況を未然に防いでまいります。



多額の予算投入「あさひ未来学園」完成予想図



すずき よしあき 議員 鈴木 義昭

高齢者福祉施策の 推進を!!

町長 高齢者のニーズを 丁寧に分析します



ほそや ひであき 議員
細谷 秀明

【質問】 介護等全般のサービスを提供する「介護老人福祉施設」が町内外に3カ所で事業展開しているが、入所申込みの状況はどのようなになっているか。

【町長】 以前と比較して待機者数は減少し、待機期間も短くなってきています。要因として、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅が増えたことで、利用者の選択肢が広がったものと思われる。

【質問】 「要介護3」以上の方を家庭で介護している方への支援を拡充すべきと思うが。

【町長】 現在、在宅介護実態調査を実施しており、その結果を分析し、介護者の負担の実態を把握した上で、家族介護支援事業の施策について検討してまいります。



町内にある介護老人福祉施設

国民健康保険税 統一の影響は

町長 今後の 国民健康保険税額は不透明



わだ かずのり 議員
和田 一則

【質問】 国民健康保険税統一に向けての進捗状況は。

【町長】 山形県では、令和7年度から11年度までの5年間で「納付金ベースでの統一」を行い、その後「完全統一」を目指す方向で市町村と協議が進められています。

【質問】 納付金ベースでの統一・完全統一とは。

【町長】 「納付金ベースでの統一」とは、納付金の算定において、市町村ごとの医療費水準を加味しないことを意味し、「完全統一」とは居住する市町村にかかわらず、同一世帯構成、同一所得水準であれば、保険税が同じ

になるということです。

【質問】 納付金ベースでの統一・完全統一となった場合の取り扱いは。

【町長】 県では、令和9年度から「保険事業等部会」を新設し、検討していくこととしております。



町民が笑顔で診療を受けられるために

新たな

景観保全条例の設置は

町長 ハードル高く
既存条例の内容精査から



【質問】 朝日町の美しい街並みは次世代へつなぐべき町の宝であり、貴重な財産である。

朝日岳の景観保全に向けて、国や県の補助金だけではなく、民間の日本山岳遺産基金への申請も検討してほしいかがか。

【町長】 提案を精査・検討し、考えてまいります。

【質問】 農業分野においても景観保全の観点から、園地の形成・保全の支援や、独立した審査機関の設立などの仕組みづくりをしてはいかがでしょうか。

【町長】 審査にあたり公平性を担保する方法の模索など課題はある

ものの、前向きな提案として受け止めたいと考えています。

【質問】 町の宝を後世につなぐため、既存の条例を精査し、農業や観光などを包括する新たな条例の制度を検討してほしいかがか。

【町長】 非常にハードルは高いものの、それぞれの現状に見合った運用しやすい計画を実施していきたいと考えています。一方で、後



全国棚田百選の椹平の棚田

世においても町の景観を維持できるよう、条例整備に向けた動きの必要性は認識しており、既存施策の精査も踏まえ、総合的に考えてまいります。

ロンバス栽培の成果、省力化技術は

町長 栽培管理が
効率よく省力化



【質問】 作業効率が高く、雪に強いりんごの栽培方法、「朝日ロンバス方式」の推進と省力化技術の導入について、その進捗を伺う。

【町長】 平成25年からの実績で、約4200本が設置されています。ロンバス方式は雪害による枝折れが少なく管理しやすいことから、早期多収や省力化につながっています。

また、葉取らず栽培やAIロボット、ドローンの活用など、さらなる省力化に向け、先進地の情報を収集してまいります。

【質問】 高齢化が進む当町において、加齢性難聴の早期発見、早期

対応への取り組みは。

【町長】 健康教室などでの加齢性難聴についての講話や、ご自身で「耳の聴こえ」を確認できる耳の健康チェックを行ってまいります。

【質問】 難聴により生活に支障が生じている高齢者への補聴器購入にかかる費用の一部助成については。また、役場窓口への「軟骨伝導イヤホン」の設置は。

【町長】 必要性や制度の在り方について、今後検討を進



朝日ロンバス方式によるりんご栽培

成るか!!

耕作放棄地の再生

町長 地域計画を策定し 農地利用を示す



【質問】 令和6年改正の「食料・農業・農村基本法」に基づき、基本計画が令和7年4月に閣議決定され、当町においても地域農業の現状を踏まえ、今後10年後の農地利用の姿を示す「地域計画」が示されている。中・西・北部の3地区に大別した計画であり、毎年見直しを行うと伺っているが、今後、地区別にどこを、誰が、何をといった具体的な想定地図を示し、効果的に集約を図るべきと考えるが。

【町長】 地域農業においては、農用地や水路、農道の保全のみならず、地域コミュニティの維



荒れた耕作放棄地

【質問】 サクランボの受粉支援について。
【町長】 県とともに「サクランボ結実確保緊急支援事業」により、ミツバチ導入などを支援してまいります。

今後の持続可能な地域づくりについて

町長 つながりづくりで地区の「コミュニティ活動」を盛り上げる



【質問】 人口減少、少子高齢化や核家族化が進む中で、地域コミュニティの機能強化に向けた取り組みが必要だが、具体的な方策は。
【町長】 小さな単位でのつながりづくりを進めることで、地区のコミュニティ活動を盛り上げ、地区のにぎわいにつなげていくことが必要と考えております。地域維持活動への支援や、地域おこし協力隊、集落支援員が中心となり、居場所づくり事業に取り組んでおり、好事例も生まれております。

【質問】 まちづくりは人づくりと言われている。「この町が好きだ

から守りたい」という人を増やすための取り組みが必要だ。地域活動への参加を促すための対策は。
【町長】 地域とつながることが重要です。地区との関わりを深め、地区の一員として育てていく意識も必要だと思います。

【質問】 「あさひ未来学園」での郷土愛を育む教育は。
【町長】 学校が一つになることは、学びの対象が身近な地域から町全体へと広がる機会と捉えています。学び



祭りに参加して郷土愛を育む

を学校内にとどめることなく、地域全体で子どもたちを育むという姿勢のもと、郷土愛が育まれる教育環境づくりを進めてまいります。

議会広報常任委員会視察研修報告

参加者

長岡裕二委員長、佐竹祐樹副委員長、柴田喜久雄委員、鈴木義昭委員
細谷秀明委員、村山庶務係長

視察期日 令和8年1月28日(水)～29日(木)

視察先 にしわがまち 岩手県西和賀町議会、ひがしなるせむら 秋田県東成瀬村議会

目的

議員のなり手不足が全国的な課題となっている昨今、議会の重要な役割として、議会活動への理解を深めていただく手段の1つが議会広報である。見る人、読む人（町民）に分かりやすく、読みやすい紙面づくりを推進するため、先進的な活動を行っている議会を調査し、今後の委員会活動に資することを目的とする。



視察の主な内容

(1)編集方針について (2)編集作業全般について (3)広報紙のリニューアルについて(西和賀町のみ) (4)議会ブログの運営について(東成瀬村のみ)



所感

●西和賀町

私たちの議会だよりも多くの関心を寄せていただいた。この視察を通じて、さまざまな企画を拝見した。特に、ネームバリューやクイズ、臨時号の発行など、町民に寄り添った編集に徹していたことが印象に残った。

●東成瀬村

編集にあたっては、事務局職員と印刷会社が果たす役割が非常に大きいと感じた。職員が原稿を作成し、印刷会社へ送り、その原稿をもとにレイアウトを行い、職員が修正箇所を指摘し、印刷会社が修正する。その後、委員会で編集し、誤字・脱字を修正して印刷にかけるとのことだった。事務局職員の意向が大きく反映されるものと感じた。

議会運営委員会行政視察報告

参加者

阿部正明委員長、白田忠一副委員長、和田一則委員、鈴木光一委員
長岡裕二委員、阿部為吉議長、細谷秀明副議長、阿部正文議会事務局長

視察期日 令和8年2月3日(火)～4日(水)

視察先 たいわちよう 宮城県大和町議会、しばたまち 宮城県柴田町議会

視察目的

先進的な議会運営や議会活性化に取り組んでいる両議会を視察研修し、当町の議会運営や活性化に活かすことを目的とする。

内容

大和町議会は通年議会を導入し、会期を1年とすることで議員活動の自由度向上や専決処分の抑制といった利点がある。自由闊達な意見交換を促し、多様な視点を共有できることが特徴である。



また、柴田町議会では住民懇談会に「^{*}ワールド・カフェ方式」を取り入れ、リラックスした対話の中で多様な意見を引き出し、課題の把握や解決につなげている。当議会においても、住民との距離を縮める有効な手法として導入が考えられる。

※少人数で対話を回し、意見を広げる話し合い手法

議会の活動

視察の来訪がありました

岩手県雫石町議会広報広聴常任委員会

視察日：令和8年1月27日（火）

【研修目的】

議会だより発行における編集方針および体制について（表紙のリニューアル、巻末企画「地域を見つめるリーダーたちの提言」、編集スケジュール、発行経費、特集への取り組み方〔テーマ決めなど〕）

【研修内容】

まず、上記の事前質問事項について、長岡委員長ならびに事務局より説明があった。その後の質疑応答や意見交換会では、委員間で活発な議論が行われ、予定時間を超えるほど大変有意義な機会となった。



議員報酬引き上げについての要望書提出へ

提出者：阿部為吉議長、細谷秀明副議長、阿部正明議会活性化特別委員会委員長

令和7年3月に提出した中間報告および要望書において、議員報酬を近隣自治体と同等以上へ引き上げる必要性を示しましたが、その後も議会活性化特別委員会で「議員のなり手不足」を中心に議論を重ねた結果、より具体的な金額を示して改めて要望するに至りました。

○要望書の内容（要約）

現在、議員報酬は平成8年以降、月額23万5,000円に据え置かれています。しかし、近年の物価上昇や社会経済情勢の変化に加え、議員活動の多様化・専門化により職務負担は増大しており、現行の報酬水準では十分な議会活動に専念できる環境の確保が難しくなっています。

また、将来的な議会の持続性を確保し、多様な人材が参画できる環境を整えるためにも、報酬水準の見直しは喫緊の課題であると考えます。

このため、議員報酬を月額23万5,000円から29万5,000円へ、議長を31万円から39万円へ、副議長を25万円から31万5,000円へそれぞれ引き上げるよう強く要望いたします。さらに、町長、副町長、教育長、代表監査委員をはじめとする特別職についても同様の状況にあることから、これらの報酬についてもあわせて引き上げを要望いたします。

令和8年3月13日 朝日町議会 議長 阿部為吉

朝日町長 鈴木浩幸 殿



地域を見つめる リーダーたちの提言

高田区長
長岡 広二さん



皆さんの地域の区長さんから、
町発展に向けた貴重なご意見を伺います。

提言

雪解けの季節になると、イノシシによる崖の掘り起こしで側溝が埋まっている箇所があります。

埋まっている距離が長く、区の人足では対応しきれないため、町に対応していただいています。崖が掘り起こされないような対策についても検討していただきたいと思います。

令和7年度から区長を引き受けて1年、区民の皆様の協力のおかげで無事に務めることができました。しかし、区民の高齢化や戸数の減少により、区の維持管理などを考えると将来に不安を感じています。今後は区民の皆様と知恵を出し合いながら、自治会活動を進めていきたいと思っています。そのためにも、町・議会の皆様にはご支援を賜りますようお願い申し上げます。



イノシシから無惨にも掘り起こされた様子

次の定例会は **6月4日(木)** 開会予定です。

パソコンやスマートフォン等で、
議会中継をご覧くださいませ。
録画でもご覧いただけます。



山形県朝日町議会

検索

議会だより取材のため腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

● **ご意見・ご感想は議会事務局まで** ●

tel:0237-67-3306 fax:0237-67-2117
mail:gikai@town.asahi.yamagata.jp

編集後記

山々の残雪もわずかとなり、いよいよ春本番の季節を迎えました。近年は自然災害が多発していることから、今年一年、災害が起きないことを願うばかりです。

さて、今年度の当町の予算額は過去最大の95億円で可決・成立しました。今後は町執行部と議会が緊張感を持って、町政運営にあたっていく必要があると考えております。

細谷 秀明

【発行責任者】

議長 阿部 為吉

【議会広報常任委員会】

委員長 長岡 裕二

副委員長 佐竹 祐樹

委員 柴田喜久雄

委員 鈴木 義昭

委員 細谷 秀明